駐車場利用管理約款

第１章　総則

第１条（契約の成立）

本駐車場の利用者（以下「利用者」という。）は、本約款を承諾のうえ本駐車場を利用するものとする。

第２条（駐車場利用の目的）

アモノママネジメントサービス株式会社（以下、「管理者」という。）は、利用者に対し、本約款に反しない限り、短時間駐車するための本駐車場区画（車室）を別途定められた料金（有償・無償を問わず）で利用させるものとし、車両を預かりするものではないものとする。

第３条（駐車料金）

1. 本駐車場の利用者は、本駐車場に掲出した料金額および料金体系により、駐車時間に応じた駐車料金を支払うものとする。

2. 駐車料金を算出するための駐車時間は、次のとおりとする。

（1）ナンバープレート監視カメラシステム式駐車場（以下、「ナンバープレート監視カメラシステム」という。）の場合

駐車区画へ入場した時刻から精算時に利金精算機に駐車区画番号を入力した時刻までの時間。なお、精算後、５分以内に出庫しない場合、追加料金が発生する。

3. 駐車料金は、本駐車場内に備えられた精算機、支払機等により精算するものとする。

第４条（時間制利用の利用時間）

本駐車場の１回の利用は、継続して４８時間を超えて駐車できないものとする。但し、止むを得ない事情により利用者が事前に管理者から承諾を受けた場合、または本駐車場内に異なる駐車時間時間が掲出されている場合は、この限りでないものとする。

第５条（駐車できない車両）

1. 本駐車場において、以下の車両は、駐車できないものとする。但し、本駐車場において駐車可能車両の仕様につき、本約款と異なる特別の指定がある場合には、当該約款の内容は優先されるものとする。

2. 車両の大きさに関する制限

（1）平坦に設置する駐車場の場合

①車両全長：５．０ｍを超える車両

②車両全幅：１．９ｍを超える車両

③最高車両高：２．７ｍを超える車両。但し、特に最高車両高を制限する場合、掲出した制限数値に従うこと。

④最高積載重量：２．０ｔを超える車両

⑤最低地上高：１５ｃｍ未満の車両

（2）最低打施設及び平地であっても特殊な施設向に設置する駐車場の場合、別途書板に表記した基準に該当するものに限る。

3. 車両の構造による制限

（1）車両入庫設備装置が作動しない形状の車両

（2）オートレベリング機能等を有し、車両高が変化する車両

（3）エアロバンク装着車両

（4）低床車で地上高１５ｃｍ未満の車両

4. 法令遵反等による車両の制限

（1）無登録車、車検切れ車等、一般道路を走行することが禁じられている車両

（2）自動車登録番号に重いがされ、または取り外されている車両等、登録番号自動認識装置による読み取り が困難な車両

（3）自動車登録番号の変更があるにもかかわらず変更登録手続きが済んでいない車両

（4）低登録中である車両等の車体の特定が困難な車両

5. 他車への加害のおそれのある車両の制限

（1）付属装置物がもり、接触により駐車場施設もしくは機器または他の自動車の損傷を発生させるおそれがある車両

（2）駐車場内において、接触、擦過、衝突等の事故等を発生させるおそれがある車両

（3）危険物、有害汚染物質その他安全もしくは衛生を害するおそれがある物または悪臭発生もしくは流汁漏出の原因となる物を搭載した車両

（4）荷台・後部・側面にサーフボード、ウィンドサーフィン関連、自転車等関連物の車外積載にて入場・出場の際ガーとと接触するおそれのある車両

（5）他車両との接触、稼動物の落下のおそれがあるキャリア搭載車両

6. 二輪車・三輪車等の制限

自動二輪車、原付自転車、足踏み自転車、小型特殊自動車、サイドカー、三輪車、バギー、トライクなどと呼称される車両。但し、本約款にかかわらず、本駐車場に特に駐車することができる旨の掲示がされている場合は、掲示された条件に従い駐車することができるものとする。

7. 前各号の規定の適用に際しては、車両の付属装着物及び積載物等を含めて判断するものとする。

第６条（駐車場内の通行）

利用者は、本駐車場の利用通行に関しては、次の事項を守らなければならないものとする。

（1）ナンバープレート監視カメラシステムによる駐車場は、駐車区画番号を確認のうえ、料金の精算を行うこと。

（2）短時間の利用により課金されない場合、又は、割引サービス等を行なっている駐車場であっても、必ず精算機にお いて精算行為を行なうこと。

（3）車両内に現金、貴金属、宝石を始めとする貴重品については残置せず、身の回りに所持すること。

（4）駐車場はエンジンを必ず停止し、車両から離れるときは窓及びサンルーフを閉め、ドア及びトランクには施錠して盗難防止に努めること。

（5）区画ごとに駐車スペースに駐車し、それ以外の場所に駐車しないこと。

（6）駐車中の車内に乳幼児を放置しないこと。

（7）駐車中の車内に動物を放置しないこと。

（8）駐車場内は喫煙、及び火気の使用は厳禁する。

（9）爆発性のもの可燃性のものは踏入を禁止する。

（10）大音響でのカーステレオ、乱暴なドアの開閉、夜間の大きな話し声等、近隣の迷惑になる行為を禁止する。

（11）清潔になるよう努め、ゴミ、缶及び紙屑、ボロ切れ、吸殻、雑誌、軽大ゴミ等の一切を捨てることを禁止する。

（12）駐車場内での車両の駐車以外の行為（洗車・調査・試乗・撮影・著名活動等）を禁止する。

（13）非常時の為のものを積載したり、取り付けていること、または流れ出したり、こぼすおそれがあるときの入庫を禁止する。

（14）飲酒・泥沼・賭け事・洗車等他人の迷惑になるような行為は禁止する。

（15）前各号に掲げるものの他は、全て管理者または駐車場係員の指示に従うこと。

第２章　免責・利用者賠償責任

第８条（免責事項）

管理者は、以下の（1）ないし（11）のいずれかの事由による損害または本駐車場内における利用者の車両又はその積載物の盗難、紛失又は毀損、或いは、本駐車場の他の利用者もしくはその他の人の行為又は駐車場内に存在する車両、その積載物もしくは駐車場内に起因して利用者が被った損害について、原則として責任を負わない。

（1）精算時、利用者の駐車区画（車室）番号確認に関連して精算時異なった精算時異なったに対する

（2）車両との接触物もしくは取付対象及び取付方法の欠陥、物品、設備等について の盗難による利用者の損害

（3）エアロバンクを装着した車両で入場したうえ、エアロバンクが駐車場内の設備に接触したことによる利用者の損害

（4）その他第５条の規定に違反した車両を駐車したことに伴う損害

（5）第５条に違反して定行したことによる損害

（6）その他利用者の自己過失による損害

（7）台風・風水害・地震・火災・雷雨等の天災地変による自然災害その他不可抗力による損害

（8）他の車両等に、入庫及び出庫を妨げられたことによる待機時間・機会損失等により利用者が被った損害及びその他の損害

（9）利用者間のトラブルや第三者から受けたトラブルにおける利用者の損害

（10）本約款の第１２条（営業休止等）、又は本約款の第１３条（駐車区画の変更）による措置による利用者の損害

（11）管理者の責によらない事由による出庫不能により利用者が被った自動車損害及びその他の派生損害、間接損害等

第９条（利用者の賠償責任）

本駐車場の利用者が本約款もしくは駐車場内に掲出された規定に違反した場合又は故意もしくは重大な過失により駐車場の設備または機器を破損した場合、以下の事項のほか、これにより管理者が現実に被った通常かつ直接の損害（その結果損害の全部又は一部を休業しなければならない場合には、それにより喪失した合理的な営業利益を含む。）に対し利用者は賠償する義務を負うものとする。

（1）ナンバープレート、または利用券、利用規約に違反した場合、管理者は車両のチェーン施錠、駐車区画の変更（レッカー移動）等、必要な処置を講ずることができるものとし、駐車場利用者（所有者及び同乗者を含む）は、①正規駐車料金②実損請求料（チェーン施錠、レッカー移動費用、車両調査費用、機器点検費用等）を管理者に支払わねばならない。

（2）利用者（所有者及び同乗者を含む）は、本駐車場設備などに駐車中の他の車両や駐車場利用者等に損害を与えた さい、直ちに当事者に対し、その損害を賠償する義務を負うものとする。また、関係機関へ連絡し用事処置 などに当たる場合がある。

（1）駐車区画（車室）枠線外に駐車する。

（2）駐車区画（車室）を跨ぎ駐車

（3）管理者にてカラーコーン及びテープまたはロープ等にて封鎖している車室に許可なく進入もしくは入庫している場合

（4）第５条の規定により駐車できない車両の駐車

（5）その他料金を精算せずに出庫する行為

（6）ナンバープレート監視カメラシステムによる駐車場の場合、ナンバープレートを確認できない方法により駐車した と合理的に認められる場合

第１１条（管理者の提供設備の使用）

管理者がお駐車場への出勤要請を受けずてから到着及び利用者がお庫可能までにかかる待機時間が１時間を超え、なお かつ利用者が待機時間を比べ場合、管理者は、自己に故意・重過失がある場合に限り、利用者に対し、本駐車場利用料１ 日分を上限として、直接の損害に対し、賠償を行うものとする。

第１２条（営業休止等）

管理者は、次の場合に本駐車場の全部又は一部について、営業休止、駐車場の隔絶、車路の通行止め及び駐車の遮蔽（以 下、「営業休止等」という。）を行なうことができるものとする。

（1）自然災害、火災、爆発施設又は設備の損壊、その他これ等に準ず事故が発生し又は発生するおそれがあると認められる場合

（2）工事清掃又は消毒を行う ため必要があると認められる場合

（3）その他、保安上営業の継続が適当でないと認められる場合

第１３条（駐車位置の変更）

1. 管理者は、本駐車場の管理上必要があるときは、出入り口の一部又は駐車区画（車室）の一部の区画を閉鎖することができるものとする。

2. 駐車時間が４８時間を超えた場合は、管理者は利用者（所有者を含む）へ引取りを要請することができるものとし、利用者はこれに直ちに応じなければならない。なおこの場合、管理者は本駐車場の利用と安全を確保するため、対象車両に対しチェーン施錠、駐車位置変更（レッカー移動）等必要な措置を講ずることができるものとする。

第１４条（車室等に対する措置）

管理者は、本駐車場について事故が発生し、又は発生するおそれがあるときは、車両の移動その他必要な措置を講ずることができるものとする。

第１５条（入庫拒否）

管理者は、駐車場が満車である場合は入庫を停止するほか、第５条に定められた車両、第１０条に該当する車両には駐車を拒り、又は車両を退去させることができるものとする。

第１６条（入庫・出庫の方法）

1. 時間制利用者が本約款規定の掲出を行なうことなく７日間を超えて車両を駐車している場合、管理者はこれらの利用者に対する通知または駐車場に掲出する掲示の方法により、管理者が指定する日までに当該車両を引取ることを請求することができるものとする。

2. 前項の規定にかかわらず、利用者が車両の引取りを拒み、若しくは引取ることが出来ないときまたは管理者が当該車両の避失なくして利用者を確知することができないときは、管理者は車両の所有者等（自動車検査証に記載された所有者及び使用者を いう。以下同じ）に対して通知または駐車場に掲示の方法により、管理者が指定する日までに車両を引取ることを請求することができるものとする。この場合において、利用者が当該指定日までに当該車両の引取りがなされないか ときは、当該車両に保ゥる一切の権利を放棄したものとみなし、管理者に対して車両の引渡請求または、その他各 の処理有無が何ちの異議を申し立てないものとする。

3. 管理者は、前二項の請求を書面により行なう場合において、当該書面に指定する日までに車両の引き取りがなされな いときは、車両の所有者等が引取りを拒絶したものとみなす旨を付記するものとする。

4. 管理者は、第１項の規定により指定した日を経過した後は、車両について生じた損害がある場合、管理者の故意又は重大な過失によるものを除き、その損害の賠償の責を負わないものとする。

第１７条（車両の調査）

管理者は、前条第１項の規定において、利用者又は所有者等を確知するために必要な限度において、施錠の解除をし、車両（車内を含む。）を調査することができるものとする。

第１８条（車両の移動）

管理者は、第１６条第１項の場合において管理上支障があるときは、その旨を利用者もしくは所有者等に通知しまたは 駐車場において掲示し、車両を他の場所に移動することができる。

第１９条（車両の公示）

1. 管理者は、利用者が駐車券や車両を引取ることを拒み、もしくは引き取ることができず、または管理者の過失なくして利用者及び所有者等を確知することができない場合であって、利用者に対して通知または駐車場に掲示する期間の方法により期限を定めて車両の引取の催告をしたにもかかわらず、その期限内に引取りがなされないときは、催告をした日から３ヵ月を経過した後、利用者に通知または駐車場に掲示して予告したうえ、公正な第三者を立ち合わせて車両の売却、廃棄その他の処分をすることができるものとする。この場合において、車両の売却が売却に要する費用（保 告後の車両の保管に要する費用を含む。）に満たないことが明らかであるときは、利用者に通知または駐車場に掲示 示して予告した上で、引取りの期限後当たり公正な第三者を立ち合わせて車両の売却、廃棄その他の処分をすることができる。

2. 管理者は、前項の規定により車両を処分した場合は、遅滞なくその旨を利用者に対し通知または駐車場において掲示する。

3. 管理者は、第１項の規定により車両を処分した場合は、処分によって生じる収入から、駐車料金並びに車両の保管、移動及び処分のために要した費用があればこれを控除し、なお不足があるときは利用者に対してその支払いを請求し、残額があるときはこれを利用者に返還するものとする。

第４章　個人情報

第２０条（個人情報の取扱）

管理者は、本駐車場の運営にあたって、利用者から提供された個人情報については、法令等に従い適正に管理するものとする。なお、管理者が本駐車場の運営管理を委託している場合、利用者へのサービス向上を目的とし、迅速に対応するため当該委託先に個人情報を提供することがあるものとする。但し、当該委託先に個人情報の保護を遵守させるものとする。

第２１条（その他重要事項）

1. 管理者は、車両に駐車券の文書を貼り付ける場合がある。

2. 管理者は、あらかじめ、防犯カメラにより駐車場内の状況の撮影している場合があり、任意にこれを不正の取り締まりに使用し、または捜査等の協力のために当局に提出する場合があることを、利用者は承諾するものとする。

3. 利用者が万が一、駐車場に金を紛失した場合、または場内にて未精算で任意による駐車区画（車室）の移動をした場合、民法、刑法、その他の法令の規定に基づく一切の損害の賠償・刑罰の責任を負うものとする。

4. 機器の故障による誤収徴の不足行については、利用者から場内掲示の緊急連絡先への連絡とし、後日郵送での対応とする。

5. 精算の際に釣銭切れになり、「預り書」という書面が精算機から発行された場合、または機器の故障による返金ついては、後日現金書留等にて返金対応とし、場内掲示の緊急連絡先への連絡とする。なお、前記以外での返金手続きは出来ないものとする。

6. 本駐車場の利用者または関係者以外の環境のない立ち入りは禁止とする。

7. 本約款は、民法５４６条の４の規定に従い変更する場合、ウェブサイト等を通じて周知をするものとする。

本約款のほかは、全て管理者の掲示に従うものとする。

© 2008　Amano Management Service Corporation

管理者の承諾なしに無断転載及び複製を禁じます。

【平成 20 年 12 月 26 日制定　令和 3 年 10 月 1 日改訂 Rev.06】